

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	旅客利用に対応したターミナルの機能確保の検討に必要な経費		担当部局庁	港湾局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H23/H23		担当課室	産業港湾課		高田 昌行		
会計区分	一般会計		施策名	19 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなどの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する 20 観光立国を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	観光立国推進基本計画(平成24年3月) 社会資本整備重点計画(平成21年3月)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アジアにおけるクルーズ需要の増大やクルーズ船の大型化に対応するため、大型クルーズ船寄港時における港湾内の物流機能や旅客の安全性を確保するため、港湾におけるクルーズ船の受入環境を改善し、我が国港湾のクルーズ船寄港地としての国際競争力の強化を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	クルーズ需要の増大や近年のクルーズ船の大型化により、大型クルーズ船が既存の旅客船用岸壁に着岸できず、水深や延長の大きい貨物船用岸壁に着岸するケースが多くなっており、旅客の安全性確保や旅客優先の運用による物流機能への支障が課題となっている。今後の大型クルーズ船の寄港増加に対応するため、大型クルーズ船の貨物用岸壁着岸時における物流機能と旅客の安全性の確保を両立させるための具体的方策を検討し、我が国港湾のクルーズ船の受入環境の底上げを図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	10	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	-	
	執行額	-	-	10	-	-		
執行率(%)	-	-	98.9	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(28年度)	
	訪日外国人旅行者数	成果実績	万人	679	861	622	1,800	
		達成度	%	37.7	47.8	34.6		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	調査実施件数	活動実績(当初見込み)	件			1	—	
					()	(1)	()	
単位当たりコスト	9,981,000(円/件)		算出根拠	単位当たりコストX/Y X: 予算額 Y: 調査実施件数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
		-	-	平成23年度限りの予算				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	アジアのクルーズ需要を取り込み、インバウンド拡大を図るため、クルーズ船の寄港促進に向けた取り組みが重要である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	企画競争により委託しており、妥当である。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	本調査により報告された点を今後のクルーズ船受け入れに活用していく。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業については、23年度に大型クルーズ船の貨物用岸壁着岸時における物流機能と旅客の安全性の確保を両立させるための具体的方策の検討を行うことで当初の目的を達成した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	<p>事業目的の達成状況から、改めて予算措置を講ずる必要性はないと認められるため廃止事業とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-	<p>平成23年度限りの予算</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	1036

※平成23年度実績を記入

【企画競争】

国土交通省
10百万円

(検討内容の決定)

A.公益法人(1法人)

(大型クルーズ船の貨物
用岸壁着岸時における
物流機能と旅客の安全
性の確保を両立させるた
めの具体的方策を検討)

職員旅費
0百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(一財)みなと総合研究財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
総合的物流体系整備推進調査費	大型クルーズ船の貨物用岸壁着岸時における物流機能と旅客の安全性の確保を両立させるための具体的方策を検討	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 公益法人(1団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)みなと総合研究財団	大型クルーズ船の貨物用岸壁着岸時における物流機能と旅客の安全性の確保を両立させるための具体的方策を検討	10	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					